

## 令和7年度（横浜国際高等学校）不祥事ゼロプログラムの検証等

## ○ 課題・目標別実施結果

課 題	目 標	実施結果と目標の達成状況
法令遵守意識の向上	標法令遵守を徹底し、公務員としての行動規範を確立することで、公務外非行を防止する。また、教育の専門家としての自覚・意識を高め、教職員としてのアイデンティティを確立する。	○職員行動指針や啓発資料を活用し、不祥事防止研修会や日常的な指導を通して公務員としての自覚とモラルの向上を図った。 ○臨時的任用職員を含めた面談や個別指導も実施し、組織全体として法令遵守意識の定着と継続的な意識向上が図られた。
セクシャルハラスメント、パワーハラスメント、わいせつ行為等の防止	生徒の人権を尊重し、セクハラやわいせつ行為等の防止を図るとともに、職場内におけるパワハラを未然に防止する。	○具体的事例を用いた研修を実施し、ハラスメントの未然防止や不適切な関わりのリスクについて理解の深化を図った。 ○職員間の声かけや相談体制の整備を進め、風通しのよい職場環境づくりを通して未然防止の取組が着実に図られた。
教職員を組織的にサポートする体制づくり	同僚性の醸成に向けた組織的な支援・相談体制の充実を図る。	○総括教諭や管理職を中心に相談体制の充実を図り、職員が業務や心理的負担を抱え込まないよう組織的支援を実施した。 ○日常的な情報共有と声かけを継続することで同僚性の醸成が進み、安心して働ける職場環境の整備が図られた。
入学者選抜、成績処理及び進路関係書類の作成と取扱いに係る事故防止	点検体制を整え、職員が一つひとつの業務を確実にやり、適切な処理をして引き続きミスのない書類作成を行う。	○複数による点検体制と計画的な業務遂行を徹底し、余裕を持った日程管理のもと正確な事務処理を実施した。 ○校内研修において事例共有や点検方法の確認を行い、職員の事故防止意識の向上と確実な処理の定着が図られた。
個人情報等の管理及び情報セキュリティ対策の徹底	引き続き生徒の個人情報等の管理及び情報セキュリティ対策を徹底し、個人情報の流出を未然に防止する。	○個人情報の取扱いに関する研修を実施し、情報セキュリティに対する理解と意識の向上を組織的に図った。 ○USBや貸与端末の管理、すく〜るねっとの活用を徹底し、適切な情報管理体制の維持と事故防止が図られた。
交通事故防止、酒酔い・酒気帯び運転防止、交通法規の遵守	酒酔い・酒気帯び運転禁止の徹底、交通法規の遵守による交通事故の防止を目指す。	○不祥事防止会議等において交通法規の遵守と飲酒運転防止の徹底について継続的な注意喚起を行った。 ○日常的な啓発を通して職員の安全運転意識の向上を図り、事故防止に向けた取組が確実に定着した。
業務執行体制の確保	教科及びグループ業務の情報共有、協力体制を推進する。	○共有フォルダの活用や情報共有の仕組みを整備し、教科及びグループ業務における効率的な運営を推進した。 ○複数体制による業務遂行と相互チェックを徹底することで、協力体制の強化と業務の安定的な執行が図られた。

会計事務の適正執行	私費会計に関する事故を未然に防止する。	○私費会計基準の周知徹底と担当者への指導を行い、適正な会計処理の確実な実施を図った。 ○監査結果の共有や研修を通して職員全体の意識向上を図り、事故のない適正執行体制の維持が図られた。
体罰・不適切指導の防止	体罰、不適切指導を未然に防止する。	○人権に配慮した指導に関する研修を実施し、適切な指導の在り方について共通理解の深化を図った。 ○日常の指導の振り返りや情報共有を通して、体罰及び不適切指導の未然防止に向けた取組が着実に推進された。

○ 令和7年度における不祥事ゼロプログラム全体の達成状況と今後の課題（学校長意見）

本校においては、不祥事ゼロプログラムに基づき、全教職員が主体的に関わる取組を年間を通して計画的かつ継続的に実施した。法令遵守意識の向上やハラスメント防止、個人情報管理等の各課題において、不祥事防止研修会や日常的な声かけ、複数による確認体制の徹底を通じて、教職員一人ひとりの当事者意識と規範意識の向上が図られた。また、総括教諭や管理職を中心とした組織的な支援体制の充実により、同僚性を基盤とした風通しのよい職場環境の形成が進み、不祥事の未然防止に資する実効的な組織運営が実現されている。さらに、業務執行体制や会計処理、情報セキュリティにおいても、相互チェック機能の強化と業務の可視化が進み、組織としての統制機能の向上が認められる。これらの取組により、重大な不祥事の発生はなく、概ね目標は達成された。一方で、ICT活用の進展や業務の高度化に伴い、新たなリスクへの対応や、教職員の意識の継続的な維持・向上が求められる。今後も不祥事防止会議及び研修の充実を図るとともに、日常業務における相互牽制と支援のバランスを高め、より一層実効性のある取組として定着させていく。